



しかはま自然観察会

# のらえもん

2020 年度

No. 2

2020. 5, 10

『 人も 自然も みんな友だち 』

第2回活動 本物の田植え体験とイチゴ狩り、そしてビール工場見学

## コロナ禍のため、中止

### ○ 電話をするが・・・

みんなが楽しみにしている「ビール工場見学」。予約が取れなかったら、レベル5の抗議にあいそうだ。

2月25日、早々に、アサヒビール工場に電話をかけた。「ただいま、予約は受け付けていません」との返事だった。「エッ!」「ハヤ!」。「実施日は、5月10日なんですが?」「ハイ、今のところ予定は立っていません」との返事だった。暗雲が広がり始めた。

状況は、益々悪くなるばかりだった。3月下旬、宅間様に、田植えは中止することを連絡した。田植えの後のお楽しみ、イチゴ狩りのみんなの笑顔が浮かんだが・・・。

### ○ イチゴの販売

4月3日、突然宅間さんから手紙が来た。「コロナ禍で、田植えができないので、イチゴ狩りもできません。その代わりに、ご希望の方にイチゴの宅急便を受け付けたいのですが・・・」という内容だった。1箱4パック送料込みで2000円。

「なるほど、こういう方法もあるな!」と賛同して、早速会員の方々にメール発信した。続々と、購入希望の返信があった。宅間様に8回もFAX注文し、合計42箱のご協力をいただいた。ありがたいことだ。

「美味しい!」

「つぶが、大きい!」

「イチゴの香りを、初めてかいだ!」

「家族で食べたら、あっという間に、3パックなくなった!」

「贈答用に、注文したい!」

と、たくさんの気持ちのこもった言葉をいただきました。

宅間様も大変感謝し、「稲刈りでは、皆さんのご来訪を、お待ちしております」と述べられていた。

閑話休題、私は長男夫婦に1箱送付した。孫は、イチゴが大好きなのだ。早速、動画が送られてきた。孫が、「あまくて、おいしい!」といったきり、もくもくと食べているだけだった。GWにも来られなくなり、孫の動画を見てから食事をするのが、女房とのささやかな楽しみであり潤滑油にもなってきた。

田植え体験活動の歩み

回数	田植え年月日	もう一つの体験活動	参加者
1	2010年(平成22年) 5月15日	茨城県自然博物館	66
2	2011年(平成23年) 5月7日	いちご狩り あうなろの里	55
3	2012年(平成24年) 5月19日	筑波山ハイキング	63
4	2013年(平成25年) 5月19日	ほうれん草とチンゲンサイの収穫 体験 アサヒビール工場見学	77
5	2014年(平成26年) 5月18日	そらまめの収穫体験 アサヒビール工場見学	65
6	2015年(平成27年) 5月17日	いちご狩り 麒麟ビール工場見学	54
7	2016年(平成28年) 5月16日	いちご狩り アサヒビール工場見学	66
8	2017年(平成29年) 5月14日	いちご狩り アサヒビール工場見学	62
9	2018年(平成30年) 5月13日	いちご狩り 麒麟ビール工場見学	63
10	2019年(令和元年) 5月12日	いちご狩り アサヒビール工場見学	74
11	2020年(令和2年) 5月10日	コロナ禍のため、中止 いちごの販売、42箱の協力	

宅間農園のイチゴ  
品種は、やよいひめ



1箱4パック入り



1パックのイチゴ  
イチゴの香りがプ〜んつつたわってくる。